

平成23年9月12日  
農政部蚕糸園芸課水産係  
内線3095

## 放射性物質に対する水産物の安全検査について

県では、水産物の安全確認検査を行いました。9月3日、4日にパラギ湖で採捕したワカサギ、9月7日に梅田湖で採捕したワカサギ、9月8日に鮎川湖で採捕したワカサギ、9月9日に赤城大沼で採捕したワカサギとウグイについて、検査機関に分析を依頼したところ、9月12日に結果が判明しました。パラギ湖、梅田湖、鮎川湖で採捕したワカサギについてはいずれも放射性セシウムが暫定規制値を下回りました。赤城大沼で採捕したワカサギとウグイについては放射性セシウムが暫定規制値を超える値でした。

このため、県では、暫定規制値を下回ったパラギ湖、梅田湖、鮎川湖については、ワカサギの解禁延期要請の解除をすることにしました。赤城大沼については、ワカサギとそれ以外に食用に用いられる可能性のある魚種（ウグイ、コイ、マス類）の採捕自粛を継続することにしました。

### 1 検査地域

パラギ湖（嬬恋村）、梅田湖（桐生市）、鮎川湖（藤岡市）、赤城大沼（前橋市）

### 2 検査対象水産物

ワカサギ（天然魚）、ウグイ（天然魚）

### 3 採捕日

平成23年9月3、4日（パラギ湖）

平成23年9月7日（梅田湖）

平成23年9月8日（鮎川湖）

平成23年9月9日（赤城大沼）

### 4 分析結果判明日

平成23年9月12日

### 5 検査結果の概要

- ・パラギ湖と鮎川湖のワカサギについては、放射性セシウムが検出されなかった。
- ・梅田湖のワカサギについて、放射性セシウム（セシウム134とセシウム137の合計）が暫定規制値を下回った。
- ・赤城大沼のワカサギとウグイについては、放射性セシウム（セシウム134とセシウム137の合計）がそれぞれ650と741ベクレル検出された。
- ・全ての検体から放射性ヨウ素は検出されなかった。

### 6 サンプル調査結果

分析機関：（株）環境技研

## 検査結果

地域	品目	放射性物質の濃度 (Bq/kg)				放射性ヨウ素
		放射性セシウム				
		セシウム134	セシウム137	合計		
パラギ湖	ワカサギ	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	
梅田湖	ワカサギ	103	119	222	検出せず	
鮎川湖	ワカサギ	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	
赤城大沼	ワカサギ	307	343	650	検出せず	
赤城大沼	ウグイ	340	401	741	検出せず	

## ※ 暫定規制値 (魚類)

放射性セシウム (セシウム134とセシウム137の合計) 500 Bq/kg

放射性ヨウ素 2,000 Bq/kg

## ※ 「検出せず」とは、検査機器が測定できる定量下限値未満であることを示す

定量下限値は、セシウム134、セシウム137、ヨウ素ともに50 Bq/kg